

## まえがき

この本に辿りついてくださりありがとうございます。

長年思い続けてきたことや取り組んできたことを形にしたいと思い、このたび出版いたしました。よろしければ最後までお付き合いくださり、一緒に共感してくださると幸いです。

「きもの」って……なんでしょう？

きものは、日本人の心であり「日本古来の生活衣類」であり「民族衣装」です。

もともと、飛鳥、奈良時代より中国の影響を受け、中国の呉の国によって伝わったのが始まりと記憶していますが、長い年月の歴史の中、日本の風土とその時代にあった形式できもの形に変化はあれど、きものとともに生活があったわけです。

とはいえ、上流階級と庶民との衣類の差は著しく違ったものではありましたが、そのあたりは歴史の本で知ることをおすすめします。

生活の一部であったきものは、自然の成り行きで親から子へと着方が受け継がれていきました。

普段着ですから、現代のように型にはまった美しい着方は必要なかっただろうといえます。

明治時代、大正時代の写真を見ればお気づきになられるはずです。

明治時代に入り（正確には江戸末期でしょうか……）西洋文化が発達し、その後、昭和終戦を向かえる頃にはきもの離れがますます進行し、着付け教室という名のもとで教わらなければ着ることので

きないものとなってしまいました。

しかし、通過儀礼や大切な行事には日本人としてきものを着たい！ という心は根強く現代までも受け継がれており、伝統文化として伝統衣装を守り続ける日本人の精神は素晴らしいものだと感じています。

少し固くなってしまいましたが、私が今一番言いたいことは、現代が洋装化したからこそ、この伝統衣装「きもの」を絶やすことのないよう、正しく次世代へと受け継がれていくように考えていかなければならないところにきているのではと感じるのです。

きものの畳み方を知っている人はどれだけいらっしゃるでしょう？ きもののTPOを知っている方はどれだけいらっしゃるでしょう？ 単衣ってどんな……？ 訪問着ってどんな……？

現代、海外からの観光客は非常に多く、日本の文化に触れたくて、日本を知りたくて、多くの外国人が知識を得て日本へやってきます。きものについて訊かれたときに正しい知識を伝えることができるのでしょうか？

知らなくて当たり前の現状の中、ただ「仕方がない！」では日本人として恥ずかしいことではないでしょうか？

成人式のインタビューで「今しかできないから！」「目立ちたいから！」と言って、目に余る光景をわざと取り上げて放映されると、成人式とはなんぞや！ という通過儀礼から勉強しなければならないような気がいたします。

きものは、美しいものです。上品なものです。立ち居振る舞いも

自然に変わります。女性を美しく輝かせてくれる伝統的ファッションです。決してコスプレではなく、仮想ファッションではない！ということをおわかっていただきたいのです。

簡単でいいと思うのです。浅いところでいいと思うのです。学校の授業で教えるところからまず始めてはもらえないものでしょうか！

今、英語は必修科目です。母国の伝統も守るべく必修問題だと深く感じるのです。